

アジア政経学会 2003年度第2回常務理事会 議事録

1. 日 時 2003年7月5日(土) 15:00~17:00
2. 会 場 霞山会館
3. 常務理事総数 24名
4. 出席者 11名(石井、天児、絵所、加納、国分、末廣、高原、田中恭、中兼、古田、山田)
5. 委任状提出者 10名(上原、小川、加藤、北原、佐々木、白石、西村、平野、若林、渡辺)
6. 出席者合計 21名
7. 議 長 石井理事長
8. 議 事

- * 定刻に、石井理事長が議長席につき開会の辞。まず総務担当理事より本日の出席者は21名(委任状による表決者を含む)にて、定足数12名以上を満たしているので、本理事会は有効に成立している旨の報告があった。
- * 本常務理事会の議事録署名人として、末廣理事、高原理事の2名を指名し、両氏はこれを受諾した。その後直ちに議案の審議に入った。
- * 前回常務理事会(2003年4月5日)議事録を確認した。

検討事項

(1) 2003年度 東日本大会、西日本大会について

先日開催された東日本大会(5月24日、於神戸外語大学)、および西日本大会(6月14日、於甲南大学)について、それぞれ末廣理事、(本日欠席の佐々木理事に代わって)石井理事長より、共に参加者多数で発表も充実しており、盛会であったとの報告が行われた。

(2) 2003年度全国大会(11月8・9日、於学術情報センター)について

準備状況の報告・提案・議論が以下の通り行われた。

- ・自由論題(8日)について末廣理事より、7月30日までテーマを募集中。若手を含め、積極的に応募を呼びかけてほしいとの報告があった。
- ・国際シンポジウム(8日)について国分理事より、SARSで中断していたパネリストへの交渉を再開し、順調に進行中との報告があった。
- ・50周年記念式典(8日)にて行われる賞の正式名称を「アジア政経学会優秀論文賞」とすることを確認。
- ・理事会(8日)にて新常務理事選出を行う(9日の常務理事会にて、新理事長選出)ことを、承認。
- ・共通論題(9日)のテーマ及び司会者・コメンテーターの人選について、末廣理事による提案がなされ、東西バランスを配慮する方針のもとに活発な議論が行われた。
- ・50周年記念シンポジウム(9日)の内容について、古田理事より、まず学会の歩みに詳しい「長老」2人にスピーチをしてもらい、それを基にして4~5名の中心的な会員により、将来の学会の展望について討論を行うのはどうか、との提案があり、これをもとに議論が行われた。

(3) 2004年度の東日本大会、西日本大会について

末廣理事より、来年度の会場等の希望・提案について、東日本に関しては末廣理事に、西日本に関しては佐々木理事まで知らせて欲しいとの呼びかけがあった。

(4) 『アジア研究』の編集について

本日欠席の加藤理事に代わって石井理事長より、主に『アジア研究』出版経費の問題について報告があった。それを基に議論が行われ、複数の印刷会社から見積りを取るようになった。

(5) ニュースレターについて

本日欠席の若林理事に代わって石井理事長より、ニュースレター次号の内容について報告が行われた。

(6) 評議員の見直しについて

今年は評議員再選の年にあたる。石井理事長より次期評議員の選出に際し、候補者の推薦について呼びかけが行われ、各常務理事より、候補者の名前が多数挙げられた。

一方で、「評議員」の名称は実態に合っていないのではないか、という意見や、何らかの選出基準や、選出過程の文書化の必要がある等、評議員制度に関する問題点の指摘も多数あった。

(7) アジア研究者データベースについて

末廣理事より、「アジア研究者データベース」についての報告が行われた（日本学術振興会より3年間のプロジェクトとして認可され、補助金が交付される）。アジア政経学会は「日本最大のアジア研究者の組織」として、このプロジェクトにおいては、「21世紀COE：アジア関係」のハブ拠点の役割を果たす、との説明が同理事より行われた。

(8) 入・退会者について

以下の入会希望者 16名（退会希望者 2名）の仮承認が行われた。

<入会者>

浅居 孝彦（大阪市立大学大学院経済学研究科・博士課程前期）

小川 有子（東京大学大学院・博士課程）

柏木 健一（筑波大学社会科学系地域研究研究科・技官）

栴島 洋美（横浜国立大学大学院国際社会科学研究所・助教授）

紀平 良昭（京都大学大学院経済学研究科・博士課程後期）

龔 迎春（慶應義塾大学法学部・非常勤講師）

郭 潔蓉（筑波大学大学院社会科学研究所）

胡 金定（甲南大学・教授）

嶋 亜弥子（大東文化大学大学院アジア地域研究科・博士課程後期）

富川 英生（防衛庁防衛研究所）

濱四津菊枝（上智大学外国語学部アジア文化研究所）

福岡 正章（京都大学大学院経済学研究科・博士課程）

舛山 誠一（野村総合研究所・主席研究員）

松村 玲（東北大学大学院国際文化研究科・博士課程後期）

山本 忠士（亜細亜大学アジア夢カレッジ推進室・参与）

渡辺 志保（筑波大学社会科学研究所・博士特別研究員）

<退会者>

星加 泰（東洋経済新聞社）

石井貫太郎（目白大学人文学部）

(9) その他


- ①石井理事長より、7月1日に学会事務局に対し、外務省地域調整官による「査察」が行われたとの報告が行われた。
- ②石井理事長より、「地域研究会連絡協議会」の設立趣意書、および7月6日開催の設立大会についての報告が行われた。アジア政経学会もこれに参加することが改めて承認された。

* 次回常務理事会： 2003年9月20日（土）15:00～17:00


石井議長が午後5時、閉会を宣言して審議を終了した。
以上の決議を明確にするために、議長及び議事録署名人は次の通り署名、押印する。

平成15年7月5日
財団法人アジア政経学会

議長

石井 明 

議事録署名人

末廣 昭 

議事録署名人

高原 明生 